

2026年度日本数学会出版賞受賞者のことば

浦川 肇 氏

出版賞のお話がありました時、驚きとともに大変うれしい思いが致しました。賞状のお言葉を読ませて頂いて、「確かにあんなことがあったな」と、色々な思い出が湧き上がってまいりました。

一番の思い出は、内田老鶴圃から2016年に出版した高木泉先生、藤原毅夫先生との共編『(改訂新編) 微分積分学第1、2巻』と『代数学第1、2巻』です。たくさんの「編者注」がありますが、すべて高木先生、藤原先生が調べて下さったものです。私にとって最大の難関は、「連分数」でした。まったく予備知識がなく藤原松三郎先生の著書を通して勉強致しました。また、「共編」という共同作業も、何日も討論を重ねた、楽しい思い出です。

私にとって最初の著書は、1990年裳華房より出版の『変分法と調和写像』です。40代半ば、大学院の指導教授であった村上信吾先生を通して、お話がありました。原稿の書き直しを何度も命じられ(当時は紙の原稿用紙に書いていました)、やっとの思いで書き上げました。私にとって、これはとても良い「修練の場」となりました。

朝倉書店から2009年に『ラブラシアンの幾何と有限要素法』を出版しました。1992年頃、コンピュータを用いてどのように画像を打ち出すのか気になっていた折、工学部から十文字正樹氏が私の研究室に進学し共同研究が始まりました。その年の夏に、ヨーロッパでの研究会で画像や動画を発表、有限要素法の話につながり、2011年には、成果をフランス数学会の「Seminaires et Congres」に発表することができました。

最後に小生の出版賞受賞のためにご尽力下さいました方々にお礼申し上げます。

浦川 肇
東北大学名誉教授

ヨビノリたくみ 氏, ヨビノリやす 氏

この度は、栄誉ある日本数学会出版賞をいただき、本当にありがとうございます。日頃から動画を観て応援してくださっている視聴者の皆様、そして私たちの活動を温かく見守り、支えてくださる数学界の諸先生方に、心より感謝申し上げます。

私は「予備校のノリで学ぶ『大学の数学・物理』」(ヨビノリ)という YouTube チャンネルで、主に大学レベルの数学や物理の講義動画を届けてきました。活動を始めたきっかけは、「大学レベルの学習にも、もっと選択肢があって良いはず!」というシンプルな思いです。動画を作る上では、数学としての厳密さを大切にしながらも、まずは直感的に「あ、分かった!」という感動を味わってもらえるよう、分かりやすい表現や構成にトーンを工夫してきました。

YouTube という場所の強みは、いつでも、どこからでも、誰でも無料で学べる点にあります。ありがたいことに、現役の理系学生の方だけでなく、現役を退いてから「もう一度数学を学び直したい」と熱心に勉強されている社会人の方や、意欲的な中高生まで、本当に幅広い層の方々が動画を楽しんでくれています。「ヨビノリの動画がきっかけで物理や数学が好きになり、理系に進学しました」といった声をいただくたびに、画面の向こう側に数学の輪が広がっていく嬉しさを実感しています。

今回の受賞は、これまでの動画を通した科学コミュニケーションへの挑戦を評価していただいたものと、これ以上ない励みになっています。これからも数学が持つ深遠な魅力や純粋な楽しさを、より多くの方に分かりやすく届けていけるよう、真摯に動画制作に励んでまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

ヨビノリたくみ
教育系 YouTuber